

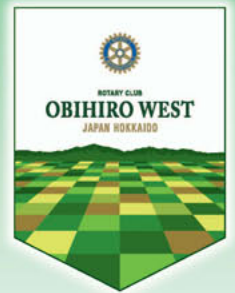


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2114回例会

### 2015.11.12

# 会報



■RI第2500地区テーマ■

もっとロータリーを楽しみましょう



■クラブ・テーマ■

大切な人にまごころを贈ろう

### 会長報告

皆さんこんにちは。今月は財団月間という事で、先週地区ロータリー財団委員長をお招きしまして、ロータリー財団の地区資金の運用について詳しくお話して頂きました。皆さんが財団に寄付したお金が、3年後に半分が地区補助金として戻って来て地区の事業に使うことができるという事がわかりました。今日は、その地区補助金を使った事業を、紹介したいと思います。

根室西ロータリークラブは、平成26年11月16日(日)「合唱のつどい」を根室市文化会館にて開催し、昨年度地区のRI 会長賞を受賞しました。子供達から発表の場所・機会がないという声を聞き、社会奉仕活動の一環として、民間では初めての取り組みとなりました。根室市内小中学校全校が参加して実施する事になり、ロータリーメンバー44名が参加し、駐車場整備・受付・プログラム配布・来場者案内・送迎バス手配等色々な作業をメンバーで行いました。第一部小学生の部では400名の出場、第二部の中学生の部も400名出場。また、一般来場者も両部ともに1,000人ずつご来場をいただき、最後まで子供たちの頑張りを見守っておりました。

「ハーモニーが生み出す合唱の魅力」をサブタイトルに、子供たちには「つどい」を通して表現する楽しさ・思いを伝える大切さ・遣り遂げることの素晴らしさを体感していただきました。特別支援学級児童の参加もあり、身振り手振りが大きく、父兄の方々から沢山の拍手をもらい、改めて感動をさせていただきました。子供達は「こんなに大勢の人の前で歌ったことがなかったのもすごく緊張したが、大変楽しかった」と言っていました。また、一般来場者からは、「ロータリークラブはこんな活動もするのか」と賞賛もいただきました。さらに、第一部の小学生の部では「さんば」、第二部の中学生の部では最後に「ふるさと」を斉唱し、ロータリーメンバーはもとより、一般来場者の中にも涙ぐんでおられる方も多数おり、これも感動させていただきました。

根室西ロータリークラブには、この企画を通して地域の人々にロータリー活動を理解していただくと共に、青少年の健全育成に今後力を注いで頂きたいと思っております。非常に素晴らしい事業で、60万円の補助をもらって実施しています。この地区の資金を使用するには、新年

### 大友広明 会長



度になってから立ち上がっては遅くなり、当該年度と次年度と一緒にやらなければならないものになっています。次年度古田会員には、是非参考にして取り組んで頂ければと思います。以上で、会長挨拶とします。

### 会務報告

- ①帯広南RC、移動例会開催のご案内  
日 時 11月16日(月)午前11時  
場 所 帯広市学校給食センター
- ②帯広南RC、11月23日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ③帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内(祝!傘寿・喜寿・古稀・還暦)  
日 時 11月26日(木)午後6時30分  
場 所 夢人  
会 費 2,000円
- ④帯広西RC、年次総会開催のご案内  
日 時 12月3日(木)午後0時30分(例会時)  
場 所 北海道ホテル

### 太田 豊 幹事



### マルチプルポール・ハリス・フェロー表彰

田中 利昭 会員(3回目)



### 出席100%表彰 15年間

本田美喜男 会員



### ニコニコ献金

大友 広明 会長

今年もあと1ヶ月半になりました。あっという間に5ヶ月です。会長報告も少し慣れてきました。あと半年頑張ります。

川田 章博 会員

本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

### 披露 藤本 剛 委員



会 長 大友 広明  
幹 事 太田 豊

副会長 若林 剛  
副会長 萱場 誠一

会場監督理事 飯田 正行  
プログラム委員理事 松見 喜明

発行：広報委員会  
委員長 工藤 正宏 (副)伊東 肇



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

## 松見 喜明 委員長

本日担当例会です。よろしくお願ひします。

## 鎌田 裕樹 副委員長

本日プログラム委員会担当例会です。松見委員長が不在ですが、宜しくお願ひいたします。

## 松原 宏樹 理事

ネット張替え工事が終わりました。本日よりアップオープンしています。打ち込みに来てください。

## 堀 修司 理事

11/8札幌にて、地域医療発展に貢献したということで、

「北海道社会貢献賞」を知事より授与されました。記念品は卓上時計だけでした。

## 藤本 剛 会員

初めてのニコニコ献金の発表です。どうぞよろしくお願ひします。

## 小甲 哲士 元会員

12年間お世話になりました。

ニコニコ	11月12日	14,000円
献金	累計	309,240円 (11月12現在)

## ◆プログラム

プログラム委員会 挨拶 鎌田裕樹 副委員長



## 「私とロータリー」 川田 章博 会員



皆様こんにちは。一番聞いて欲しかった松見委員長が欠席なのは非常に残念です。ゴルフをやらない方には少し申し訳ないのですが、少しゴルフの話をして。ここ3年、ゴルフのスコアや誰と回ったか統計を残しております。その結果わかったことは、ロータリーメンバーと回ると平均4打悪くなっていることがわかりました。4打といえばハンデが4つ違うことと同じで、相当なものです。それを少し反省しています。ここで、人間が得るものの深さについて話します。まず、知識で得るもの、経験で得るもの、失敗で得るもの、心の緊張で得るもの、この順番でどんどん得るものが強くなっていきます。いつも喋って笑いが絶えない、つまり心の緊張がないロータリーのゴルフで結果が出ないことは明白であります。一緒に回るメンバーには申しわけないと思いますが、天野会員には、「川田さん、そんなことないですよ」と、言ってもらいます。来年からは少しは緊張感を持ちプレーしようと思ひますが、本日の卓話においても皆さんの心に少しの緊張を与えられるようにできればと考えております。

入会は1993年の1月です。越智会員、越智会員の6ヶ月あとの入会でした。越智会員の後塵を拝したのはこのロータリーのみでした。ガバナー補佐をやらせていただいた経験や色々と考えているところを話したいと思ひます。入会に関しては、もともと西クラブへ入会予定ではなく、東クラブ入会予定でした。ただ、1名の会員により東クラブ入会はダメになり、入会に反対したのは当時会社同士で訴訟をやっている方でした。それで、父親には帯広クラブへと勧められたわけですが同じクラブは入会する気にもならず、結局しかたなしに西クラブになったわけ。ただ、今は本当に西でよかったと思ひているわけ。

2012年に会長をさせてもらい、その時の運営方針に引用を書かせてもらい、当時何を引用したか副委員長だった古田会員何を引用したか覚えてますか？まあ、覚えていないようですが、鴨長明の「方丈記」の冒頭「ゆく河の流れは…」です。まさに、これはロータリーと一緒にいかには人は替わりながらもその精神を伝えていくのか、ということが重要になります。昔は、宮野さんという非常に有名な方がいらっしゃって、活動についてその指摘事項をお手紙で厳しく指摘いただいたことがありました。そのような時代でもありました。ただ、近年ロータリーで寂しく感じることは、そのように活躍されたかたがお亡くなりになった時、クラブからの弔花などが見当たらないことです。本日配布された寄付なども、新入会員はよくわからない人もいますと思ひ

ますが、過去貢献された方は多くの寄付をされています。いまは会友というものがありますが、貢献した先輩を敬う気持ちが薄くなり、そのような精神を引き継いでいけないのは問題だと考えています。

ロータリーは組織的に、RI=国際ロータリーと、それぞれのクラブしかありません。地区はそのつなぎ役ではないのです。すべてRIが管理していくわけにもいかないので、その代理としたつなぎ役として地区があるのです。地区には約40クラブ必要で、現在青森は地区と成らない可能性があり、地区を守ろうとガバナー筆頭に必死になっています。その先頭に立っているガバナーやガバナー補佐はクラブの会長経験者でなければならないという規則はあります。

本日の例会に日の丸を掲揚していますが、いつからそしてどのような理由か知っていますか。戦前は掲揚していませんでした。先の大戦によりアメリカで始まったクラブなので、国を裏切っていないことを表すために始まったと言われています。そのような気概を持って先輩方は活動をしていたと思ひます。また、国歌やロータリーソングを歌う際、それぞれの旗を見ながら歌うべきものです。是非、我々のクラブはそのようにして欲しいと思ひます。

例会で一番偉いのは会長でもなくSAです。絶対服従なのです。決して司会ではなく、その場をきちんととりもつ全責任を持っている役割なのです。是非、例会が締まった良い物にするための役割であると覚えておいてください。

また、各クラブに目を向けると、人数も少なく高齢化しているところがたくさんあります。会長も複数回やっていて、クラブの大小にかかわらず、同じ大変さを数回経験するところもあるのです。西クラブはそのようなことはありませんが、皆さんには是非役職を依頼された時には大変なクラブもあることを鑑み、快く引き受けてもらいたいと思ひます。もう一つ各クラブを回って気付いたことは、クラブには重鎮と言われる方がいらっしゃいます。その方々がうるさいということで、入会しないということがあると聞いています。もし私がそのような状況になればそうならないよう指摘して欲しいと思ひます。

最後に、ロータリーは奉仕団体ではありません。ただ、ロータリアンは奉仕をしろということです。つまり、個人の考えを奉仕に向けるということです。もし、奉仕団体であるならば素晴らしいリーダーがいればずっと一人が継続すればいいのです。それを毎年替えていくのは、その精神を引き継いでいくようにするためなのです。つまるところ、滅私奉公できるロータリアンとなり、他己のために活動できるようにしてほしいと思ひます。是非例会にも参加し、「ひさしぶり」と言われたいよう活動して欲しいと思ひます。